

派遣受入団体等	都道府県名	兵庫県	
	団体名	高砂市	
支援の方法	課題対応アドバイス事業		
本事業を活用しようと考えた目的	当院の経営状況は非常に厳しい状況となっており、また病院建物も老朽化し、新病院建設の是非についても検討していくことが必要なことから、将来的にも、持続可能な経営基盤を確立するための方策についてアドバイスをいただきたく、本事業を活用することとした。		
スケジュール、主なアドバイス内容	アドバイスを求めた項目	診療収益増収策・経費削減策・新病院建設に向けたプロセス	
	1回目	6月28日	高砂市民病院の現状と課題及び高砂市民病院経営再建計画についての質疑応答を行い、今後のディスカッションテーマの絞り込みを行った。今回の主な質疑応答内容は次のとおり。①加古川中央市民病院との連携状況（紹介・逆紹介）の分析と電子カルテ共有のメリット②医師の負担軽減（タスクシフト）③派遣元大学病院への頻繁な派遣依頼④高額医療機器の費用削減（購入ではなく使用実績による支払）⑤病院ビジョンの明確化⑥目標管理（PDCAサイクル）の実践等、その他多岐にわたり、質疑応答を行った。
	2回目	8月30日	「目標管理制度」「救急受入のための院内体制充実」「地方公営企業立病院と地方独立行政法人立病院との比較」「PRの充実」「人事制度の充実」の5つのテーマについてディスカッションを行った。
	3回目	11月8日	「コスト削減（医療機器等の資産購入、医薬品及び診療材料の調達等）」をメインテーマにディスカッションを行った。また業務改革とアウトソーシングの事例等もご教示いただいた。
	4回目	1月21日	今回は将来的にも持続可能な病院のあり方を検討し、新病院建設に向けた取組についてご教示いただいた。
	5回目	2月16日	1回目から4回目までの総括及び当該研修でご教示いただいた内容を今後の病院経営にどう活かしていくかを発表
	6回目		

<p>本事業を活用した取組の進捗・成果</p>	<p>アドバイザーへ1回目の当事業で当院がご教示いただきたい内容（収益改善策・経費削減策・新病院建設に向けたプロセス）を提示し、その要望に沿った形でアドバイザーには研修を実施いただき、非常に有意義な研修となった。病院の経営改善には幹部職員だけではなく、病院全職員の意識改革が必要と考えていたが、アドバイザーからQI（医療の質の向上）についてご教示いただき、全セクションがQIについて目標設定を行い、全職員が経営改善に向けた取組を行っているところである。また新病院建設の是非については令和4年度から市議会でも本格的な議論となることから、本事業で学んだプロセスを活かして市当局の方向性を示していきたい。</p>
<p>本事業を活用して良かった点</p>	<p>当事業には病院事業管理者、院長、事務職だけでなく、医師、看護師、医療技術職の幹部職員も参加させ、病院全職種に経営感覚をもってもらえる良い機会となった。また「新病院建設のプロセス」についての講義には市長、副市長も自発的に参加したディスカッションを行い、今後、市の重要課題となる新病院建設の是非の議論の参考にできた点は有意義なものとなった。</p>
<p>今後本事業の活用を検討する団体へのアドバイス</p>	<p>本事業は各分野に精通した専門アドバイザーが派遣され、非常に内容の濃いアドバイスを無償で受けることができることから、各事業で課題を持たれている団体様には大いに活用をお勧めしたい。</p>